



ところざわ

生きものにぎわい通信

第3回
(全3回)



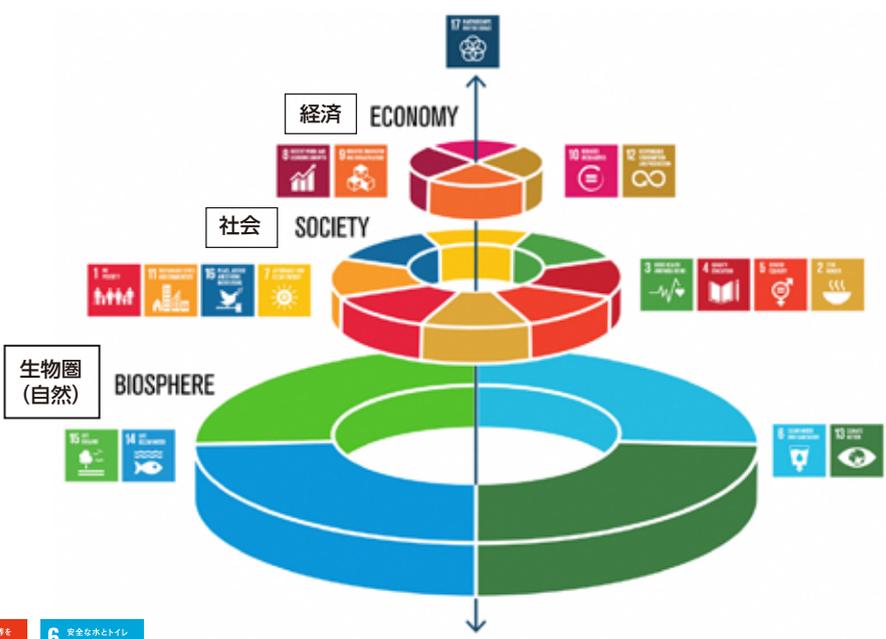
発行 所沢市環境クリーン部みどり自然課
発行日 令和3年3月1日



「生きものにぎわい通信」は、所沢の自然・生きものや、自然を守る活動・ふれあう活動を全3回のシリーズで紹介します。

SDGsと生きものにぎわい

最近、SDGs(エスディージーズ)という言葉をよく聞きますか？
SDGsは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略で、世界中の人々が一緒になってより良い世界をつくるための17の目標です。市でも取り組みを積極的に推進しています。
生きものにぎわい(生物多様性)は、目標14「海の豊かさを守ろう」と目標15「陸の豊かさを守ろう」と直接関係しています。さらに自然は、持続可能な社会・経済の基盤として、SDGs全体の実現にも欠かすことができないものです。



Azote Images for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University

自然が持続可能な社会・経済の基盤となっていることを示す図
出典：ヨハン・ロックストローム氏(ストックホルム・レジリエンスセンター)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの17の目標

生きもののにぎわいを守る取り組み

緑地保全制度による保全指定

「緑地保全制度」は、主に民間の土地に指定をして土地所有者の協力を得ながら自然を守る制度です。



青葉台まちなかみどり保全地区



上山口堀口天満神社周辺里山保全地域



緑町中央公園



滝の城址公園

公園

樹林や草地などがある公園では、生きものの生息・生育に配慮した管理を行っています。

公有地化

行政（市や県）が土地を取得する「公有地化」は生きもののすみかを守る確実な方法です。本市ではこれまでに 39haの土地を公有地化しています。



淵の森の管理活動

トラスト活動

トラスト活動は、個人や企業から広く寄付を募って土地を取得し、自然を守る活動です。本市では、民間トラスト活動が活発に行われています。



保安全管理イベント

くぬぎ山地区自然再生事業

くぬぎ山地区は、所沢市ほか3市町にまたがる約 152haの広大な平地林です。自然再生推進法に基づく「くぬぎ山地区自然再生協議会」が設立され、協議会メンバーやみどりのパートナー、民間団体（NPO・企業）等による樹林の保全、管理が行われています。一般の方も参加できる保安全管理イベントを年2回開催しています。



おおたかの森トラスト
おおたかの森トラスト・こどもエコクラブ

菩提樹池と周辺緑地の保安全管理活動

菩提樹池と周辺緑地の保全に取り組んできた地域住民、自然保護団体、企業、行政などの関係者で豊かな自然環境と里山景観の保全活用を図るために「菩提樹池と周辺の緑を守る協定」を締結し、保全活動を実施しています。



菩提樹池のかいぼり



公益財団法人トロのふるさと基金

所沢市の「生きもののにぎわい」は、多くの市民や団体、行政の取り組みによって守られています。その一部をご紹介します。

学校ビオトープ・学校林

市内のいくつかの小学校には、学校ビオトープが整備されているほか、敷地内や学校の近くに「学校林」や「学習林」と呼ばれる林があり、環境学習などで活用されています。



清進小学校（学校ビオトープ）



若松小学校（学習林）

ミヤコタナゴの保護増殖

ミヤコタナゴは、国の天然記念物に指定され、埼玉県内では野生では絶滅してしまった、とても希少な魚です。現在では、埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖による個体数の維持に努めるとともに、市内小学校や市役所 1 階市民ホールなどで飼育展示を行っています。



みどりのパートナー

団体や個人が登録をして、良好な樹林地の保全やまちなかの公共施設の緑化などの活動を行っています。

団体登録 54 団体、個人登録 15 人、計 1,434 人（令和2年4月時点）



砂川堀北野調整池（ビオトープ）

調節池・調整池

大雨の際に一時的に水をためて、洪水を抑制する施設です。通常時に水辺や草地になるようにしている場所があり、生きもののすみかとなっています。



緑化の推進活動団体の活動

早稲田大学所沢キャンパス

校内にある、市内最大の三ヶ島湿地の調査や、学生が参加して保全活動を行っています。



みどりの保全活動団体の活動

身近なことからはじめてみよう！

自然を守る活動に参加するほかに、日々の暮らしの中でできる取り組みも、生きもののにぎわいを守るにつながります。身近なことからはじめてみましょう。



買い物は「エコラベル」のついたものを選ぶ
プラゴミを減らそう



庭やベランダに生きものを呼ぼう

探してみよう!

身近な生きもの

暖かい陽気に誘われて、生きものたちが目を覚まし始める季節になりました。この時期しか会えない生きものたちを、見つけに行きましょう。

タチツボスミレ (3月～5月頃)

スミレのなかまはたくさんいますが、日当たりのよい道ばたや草地、雑木林など、様々な場所で見つかる最もポピュラーな種類です。ふちがギザギザの小さなハート形の葉っぱから立ち上がるように茎が伸びて、薄紫色の可憐な花をつけます。



フデリンドウ (3月～5月頃)

ラッパ型の淡い青紫色の花を咲かせます。草丈が5～10センチ程度で、一つの茎にたくさん花がつけるのが、春に咲く他のリンドウのなかまとの違いです。日当たりのよい草地や雑木林で見られ、日が差さないときには、名前の通り花が筆の穂先の形に閉じます。



ツマキチョウ (4月～5月頃)

年1回、春にだけ成虫が現れます。モンシロチョウに似ていますが、オスの前翅の先端部分＝褸(つま)が黄色くなっているのが、名前の由来にもなっている目印です。タネツケバナなどアブラナ科の花に、産卵にやってきます。



行ってみよう! 所沢の自然スポット



所沢カルチャーパーク

「所沢カルチャーパーク」は、所沢航空記念公園に次ぐ、市で2番目に広い公園です。公園の大部分は、コナラ・クヌギ・ヤマザクラなどからなる雑木林で、タヌキ、ノウサギ、オオタカなどの多くの生きものが確認されています。

春から初夏にかけては、ウグイス・ホトギス・メジロ・キビタキ・ヤマガラ・アオゲラなどのさえずりを聞きながら、森の中の散策を楽しむことができます。

森に接する広場には、自然を感じながら楽しめるキャンプ場や原っぱ広場があり、子どもが駆け回ることができる築山を整備中です。自然に囲まれながら、1日を過ごすことができる公園にぜひお出かけください。



- 西武バス航空公園駅発 エステシティ所沢行 又はところバス東路線(柳瀬循環コース)「若松町」または「所沢聖地霊園」下車 徒歩約10分
- 西武バス所沢駅東口発 エステシティ所沢行(東所沢駅経由)「牛沼」又は「所沢聖地霊園」下車 徒歩約5分
- 車は入り口にある駐車場をご利用ください(水曜日・年末年始はご利用できません) ■連絡先: 所沢市建設部公園課(電話 04-2998-9196)